

第十九章 兵站法官部長

第八十 兵站法官部長ハ兵站監ニ隸屬シ軍法會議ノ事務、陸軍刑法、治罪法、陸軍監獄則其他司法法律ノ解釋ニ關スル事項ヲ掌ル

第二十章 兵站監督部長

第八十一 軍兵站部ノ管區内ニ於テ軍兵站監督部長ノ負擔スヘキ任務ハ凡テ野戰師團監督部長ノ勤務條規ニ載セタルモノト同一ナリトス

第八十 兵站監督部長ノ兵站監及其參謀長ニ對スルハ師團監督部長ノ師團長及其參謀長ニ對スルト同一ニシテ且野戰監督長官及當該作戰軍監督部長ニ對シテモ亦師團監督部

長ト同一ノ職權及義務ヲ有ス

第八十三 兵站監督部長ハ凡テ兵站諸官衙及其軍隊給養上  
ノ需用ヲ充足シ且兵站監部ノ管内ニ在ル各兵站地ニ於ル給  
養事務ヲ整理スルヲ掌ル

又當該作戰軍ノ給養ニ就キ其豫備品ノ調達ヲモ爲スヘキモ  
ノトス

此部長ハ右ノ目的ヲ以テ管區内ノ資源ヲ利用シ需用増加ノ  
際ニ充ツヘキ豫備品ヲ兵站倉庫ニ貯蓄スヘシ

此倉庫ノ位置及員數ハ兵站地區ノ廣狹豫知スル作戰ノ経過  
使用シ得ヘキ交通路及輸送材料ノ有無ニ關スルモノトス  
第八十四 背後ヨリ輸送シ並他ノ方法ニ依テ集積セシ豫備

品ヲ需用ニ從ヒ當該作戰軍ニ送致スルニハ作戰軍ヲシテ成  
ルベク便利ニ其糧食縱列ヲ以テ之ヲ受領スルヲ得セシムベ  
シ若シ兵站主地遠隔シ爲メニ作戰軍ニ於テ糧食縱列ヲ以テ  
之ヲ行フヲ能ハサル時ハ倉庫ノ一部ヲ作戰軍ノ近傍ニ移ス  
ヘシ此倉庫ノ移轉ハ水路又ハ鐵道ニ賴ルヲ可トス若シ能ハ  
サルトキハ兵站糧食縱列及倉庫縱列ヲ用ユヘシ

第八十五 作戰軍靜止シ或ハ退却シ或ハ遽カニ進退スル方  
向ヲ變スル場合ニ際シヲハ兵站監督部ハ非常ナル盡力ヲ要  
スヘシ故ニ監督部長ハ常ニ時機ヲ違ヘスノ如キ場合ニ應  
スヘキ準備ヲ爲スヲ要ス

又部長ハ作戰軍監督部長ノ指揮ニ從ヒ當該兵站官衛及部隊

ニ給スヘキ被服及寄贈品等ノ分配ヲ掌ル但シ特ニ到着部隊  
ヲ指示シアルモノハ此限ニアラス

## 第二十一章 兵站軍醫部長

第八十六 兵站軍醫部長ハ其管區内ノ衛生事務ヲ統理シ凡  
テ此管區内ニ於テ衛生勤務ニ服スル軍醫、藥劑官及屬員ノ業  
務ヲ監督ス

第八十七 兵站軍醫部長ノ兵站監及其參謀長ニ對スルハ師  
團軍醫部長ノ師團長及其參謀長ニ對スルト同一ニシテ且野  
戰衛生長官及當該作戰軍々醫部長ニ對シテモ亦師團軍醫部  
長ト同一ノ職權ト義務トヲ有ス

第八十八 兵站軍醫部長ハ戰時衛生勤務令ノ條規ニ從ヒ其

職域内ニ於テ病院ノ設置、閉鎖、交代、患者ノ收容ヲ掌リ衛生豫備員並ニ赤十字社救護員ヲ適當ニ使用スルヲ擧當スルモノトス

第八十九 兵站軍醫部長ハ軍隊ノ利益ヲ謀リ衛生豫備員ヲシテ速ニ野戰病院ニ代ラシメ之ヲ戰地定立病院ト爲シ野戰病院ノ人員ヲ將來ノ使用ニ妨ナカラシメ且其定立病院ニ多數ノ看病人ヲ置クヲヲ勉ムヘシ又患者ノ充滿ニ依リテ生ズル事務ノ過重ト危難トヲ豫防スル爲メ常ニ勉メテ輸送シ得ヘキ患者ヲ後方ニ還送スルヲニ注意スルヲ要ス之カ爲メ豫メ其輸送法ヲ準備スヘシ

第九十 野戰病院ノ所在地兵站部ノ管區内ト爲リ或ハ再ヒ

作戦軍ノ管區ニ復セシ時ハ兵站軍醫部長ハ之ヲ作戦軍司令部並其關係官衛ニ通報スヘシ

第九十一 兵站軍醫部長ハ兵站部ノ管區内ニ於テ實施スヘキ必要ナル衛生法ニ關シテハ兵站監ノ顧問官タルヘシ

第九十二 兵站軍醫部長ハ兵站監督部ト協同シテ常ニ衛生豫備廠ノ諸準備ヲ整ヘ且適當ノ時ニ於テ當該作戦軍司令部及其關係官衛ニ此豫備廠ノ所在地ヲ通知スヘキ責任ヲ有ス

第九十三 兵站軍醫部長ハ衛生豫備廠ヲシテ各病院長ノ請求ニ應シ病院ノ定額需要品ヲ支給セシメ且病院長ヲシテ快復兵ヲ最近ノ兵站司令部ニ交付セシムヘシ

第九十四 兵站軍醫部長ハ時々兵站管區内ヲ巡視シテ各職

員ノ勤務ヲ監視スペシ又高級ノ部員ヲシテ常ニ管区内ノ病院ヲ巡視セシメ以テ治療法ノ適否ヲ監視セシムヘシ

第九十五 兵站軍醫部長ハ兵站管區内ノ各病院ヨリ毎旬出ス所ノ患者報告表ヲ整理シ毎月一回兵站監及作戰軍ノ軍醫部長ニ呈出スルモノトス其他ハ戰時衛生勤務令ノ條規ニ從フヘシ

第九十六 兵站軍醫部長ハ又患者輸送部ヲシテ豫メ患者輸送ニ要スル諸準備ヲ整ヘ之ヲ輸送セシムヘシ

## 第二十二章 兵站獸醫部長

第九十七 兵站獸醫部長ハ兵站監ニ隸屬シ戰時獸醫部勤務令ノ條規ニ從ヒ兵站管區内ニ於ケル馬匹ノ衛生及獸疫豫防

ノ事務ヲ掌リ總テ此管區内ニ於テ馬匹衛生勤務ニ服スル職員ノ業務ヲ監督ス

第九十八 兵站獸醫部長ハ兵站馬廠ヲ設置セラルトキハ之ヲ管理シ且自カラ其業務ヲ掌ルモノトス

### 第二十三章 兵站電信部長

第九十九 兵站電信部長ハ兵站監ニ隸屬シ國用電信網ト野戰電信線トノ間ニ必要ナル電信線ヲ新設シ、破壊線ヲ修築シ、之ヲ維持シ且其業務ヲ統理ス但其業務上ニ關シテハ野戰高等電信長ノ指揮ヲ受ルモノトス

第一百 兵站電信部長ノ任務ハ國用電信網ヨリ作戰軍ノ所在地ニ至ル迄電線ノ連絡ヲ神速確實ニ延長シ又野戰電信ノ背

後ノ連絡ヲ保チ且兵站事務ノ目的ヲ達スル爲メ必要ナル各電信局(通信所ヲ含有ス)ノ業務ヲ規定スルニ在リ

第一百一兵站電信部長ハ所屬ノ兵站電信輜重ヲ指揮シ作戦軍ニ跟隨セシメ以テ野戰電信隊ニ於テ急設セシ電線及電信局ノ人員及材料ニ代ラシメ且ツ其電線ヲ更ニ堅固ニシ又電信局ニハ所要ノ人員ヲ備フヘシ之ヲ概言スレハ兵站電信部長ハ常ニ野戰電信隊ノ人員材料ニ勤務ノ間暇ヲ得セシメ以テ之ヲシテ作戦軍將來ノ任務ニ使用セシムルトニ盡力スルモノトス

第一百二兵站電信部長ハ其兵站部ノ管區内ニ於ケル全電信線(電話線ヲ含有ス以下皆全シ)ノ業務ヲ擔任スヘキモノトス

之易爲メ其地ニ國用電信局アルトキハ其官吏ヲ使用スルヲ  
ナ得ヘシ

鐵道ニ屬スル電線ヲ使用スルトキハ之ニ關スル鐵道官衙ト  
協議ヲ爲スヘキモノトス

第百三 兵站電信部長ハ其管區内ニ在ル電線網ヲ悉ク熟知  
シ且之ヲ適當ニ使用スルノ責ニ任スヘシ此目的ノ用ニ供ス  
ル爲メ野戰高等電信長ヨリ電信連絡一覽圖ヲ受領ス若シ此  
圖上ニ不明瞭ナル所アレハ實地ニ就キ之ヲ調査シ其結果ヲ  
速ニ野戰高等電信長ニ報告スヘシ

第百四 兵站電信部長ハ通常兵站監ノ所在地ニ駐在シ兵站  
監ニ依テ絶エス作戰軍司令部ト連絡ヲ保ツヘシ又背後ニ在

ル國用郵便電信局(兵站電信線ヲ接續セシ國用電線ヲ所轄ス  
ルモノ)或ハ占領地總督所轄ノ地ニ電信局アルトキハ之ト連  
絡ヲ保ツヘシ

第一百五 兵站電信部長ハ人員及材料ニ缺乏ノ虞アルトキハ  
豫メ野戰高等電信長ニ具申スヘシ但之ヲ爲シ得レハ材料ノ  
補缺ハ微發若クハ買辦ヲ以テ補充スルヲヲ勉ムヘシ

第一百六 兵站電信部長ハ業務其他通信所ノ傳令、偵察及其護  
衛、建築物ノ警備等凡テ軍人ヲ要スルコトアルトキハ之ヲ兵  
站監ニ具申スヘシ

#### 第二十四章 軍郵便部長

第一百七 軍郵便部長ハ軍司令官ニ隸屬シ野戰高等郵便長ノ

指揮ニ從ヒ軍ト國用トノ郵便線ヲ連絡シ且之ヲ維持スルヲ任トス又郵便物ヲ各野戰郵便局ニ遞送シ及此所ヨリ之ヲ後方ニ回送セシムルヲ掌ル但兵站路上ニ於ケル郵便物ノ輸送及郵便局ノ位置等ニ關シテハ兵站監ノ指揮ヲ受クルモノトス

第一百八 軍郵便部長ハ絶エス所屬ノ軍司令部ト連絡ヲ保チ  
狀況ニ從ヒ軍司令部或ハ兵站監部ノ附近ニ其居所ヲ撰定ス  
ヘシ而シテ軍司令部ノ郵便事務ヲ掌リ且軍ノ管區内ニアル  
野戰郵便局ノ業務ヲ監視ス

軍郵便部長ハ凡テ郵便業務ニ關シテハ勉メテ所屬軍部ノ長  
官ニ對スル關係ヲ害スルヲナク遞信省ノ指示ヲ遵守スルモ

ノトス

第百九 軍司令部ハ作戦ニ關シ軍隊ノ移動ヲ計畫セシ時之  
ヲ隱秘スルニ妨ケナケレハ時機ニ應シ郵便線路ヲ整頓セシ  
ムル爲メ必要ナル部分ニ限り豫メ之ヲ軍郵便部長ニ通知ス  
ヘシ又軍ノ部下ニ於テ某團隊ノ戰鬪序列ヲ變更シ或ハ分遣  
シタル爲メ其郵便物ノ送達ニ影響スヘキトキハ軍郵便部長  
ハ其旨ヲ速ニ遞信省及郵便線路中ニ在ル最近ノ國用郵便局  
ニ詳報スヘシ但此詳報ニ關シテハ其都度軍若クハ兵站參謀  
長ニ稟議シ其同意ヲ得タル後ニ非サレハ之ヲ行フ可ラス  
第百十 軍郵便部長ハ郵便ヲ鐵道若クハ船舶ニテ送達スル  
トニ關シテハ軍ノ兵站路ニ在ル運輸通信官衙ト常ニ連絡ヲ

保ツヘシ又兵站路上所要ナル兵站地ニハ徵發或ハ雇役ノ人馬ヲ以テ郵便繼立所ヲ設立シ時宜ニ依テハ又同所ニ野戰郵便局ヲ設置スルコアリ但繼立ニ要スル人馬ノ調達ハ其地ノ兵站司令部ニ於テ掌ルモノトス外征ニ在テハ若干ノ繼立用ノ人馬ヲ本國ニ於テ準備シ之ヲ送致スルヲ要ス

第百十一 軍郵便部長ハ兵站部ノ管區内ニ在ル兵站司令部及停車場司令部ノ所在地ニ野戰郵便局ヲ置カサル時ハ野戰郵便線一覽表ヲ上ノ各司令部ニ送附スヘシ

第百十二 軍郵便部長ニ屬スヘキモノハ郵便監査、遞信屬若クハ書記トス、郵便監査ハ軍郵便部長ヲ輔佐シ野戰郵便局（野戰郵便局ハ通常軍司令部、各師團司令部、兵站主）ノ事務ヲ整ヘ之ヲ監視ス  
地ニ各一個其他要スル兵站地ニ之ヲ置ク

ルヲ任トレ之カ爲メ兵站路ヲ巡回ス軍郵便部長不在ナル時  
ハ最古參ノ郵便監査之カ代理ヲ爲ス、郵便吏員ハ専ラ各野戰  
郵便局ノ業務ヲ掌ルモノトス

軍郵便部長ハ若シ人員及材料ノ増加及補充ヲ要スル件ハ豫  
メ野戰高等郵便長ニ請求ス可シ

第百十三 軍郵便部長ハ任命アルト同時ニ必要ナル教令ヲ  
遞信省及野戰高等郵便長ヨリ受ケ然ル後速ニ軍司令部ニ届  
告シ其指揮ニ從ヒ郵便監査以下ノ屬員ヲ受領シ直ニ職務ヲ  
掌ルヘキ地ニ至ルモノトス

第一百十四 内國ニ在テハ兵站管區内ノ國用郵便局ハ遞信省  
ノ指示ニ從ヒ野戰郵便勤務ニ協力スヘキモノトス敵國ニ在

ハ軍郵便部長ハ其部下ノ吏員ヲ以テ野戰郵便繼立所ノ吏員ニ充ツヘシ之カ爲メ所要ノ補助員ハ兵站監ニ請求セハ守備兵若クハ雇員ノ中ヨリ供給セラルヽモノトス

軍郵便部長ハ要スレバ野戰郵便局用ノ脚夫(爲シ得レハ車馬ヲ用ユ)ヲ召募スヘキ方法ヲ兵站監若クハ軍司令部ニ具申スヘシ

第百十五 野戰郵便局ニ充ツヘキ家屋及其人馬ノ糧秣ハ其地ノ兵站司令部(兵站司令部ナキトキハ其附近ノ陸軍官衙)ヨリ給與ス之ニ反シ凡テ局務用具ハ勤員ノ際各師團司令部附在地ニアル郵便局ヨリ供辨スヘシ但其費用ハ軍費ヨリ償還スルモノトス

第一百十六 獨立師團ノ郵便部長ハ軍郵便部長ト同一ノ義務  
ト職權トヲ有スルモノトス

## 第二十五章 民政官吏

第一百十七 民政官吏ハ外征ノ時ニ限り附スルモノニシテ通常兵站監ニ隸屬シ凡テ敵地ノ事ニ關シ民政事務ヲ掌リ軍部ノ便益ヲ計ルモノトス但作戰地ノ狀況ニ依リ時トシテ此官吏中作戰單司令官ニ隸屬スルモノアリ

此官吏ニハ警察官及屬員若干名ヲ附屬シ其職務ヲ補助セシム

第一百十八 土民ヲ鎮撫シ之ヲ精密ニ監察シ凡テ其舉動ニ就テ疑ハシキ徵候ヲ見ルトキハ直ニ之ヲ報告シ敵ノ政略及軍

事ニ關スル諜報ヲ集ムヘキ方法ヲ定メ國用郵便ノ交通ヲ監守シ領略セル敵地ニ尙此交通ノ行ハルゝ時ニ限ル敵ノ間諜ヲ豫防シ刊行物ヲ監視シ、土民ノ有スル兇器ヲ收集シ又物資ノ收集役夫ノ徵集方法ヲ設クル等凡テ此官吏ノ任務ニシテ之ヲ實施スルニハ勉メテ地方ノ慣習ヲ破ラサルヲニ顧慮スヘシ

此ノ職員ニハ成ルヘク戰地ノ土語ヲ解スル者ヲ用ヒ且土地ノ富豪或ハ名望アル者ヲ雇役スヘシ

又此官吏ハ勉メテ地方ノ行政組織ヲ維持シ或ハ之カ回復ヲ計ルヘシ

第二十六章 水陸交通路ノ維持

第一百十九 兵站ノ任務ヲ完全ニ實行スルニハ交通ヲ確實ニ  
シ且自由ナラシメサルヘカラス故ニ兵站監ハ作戦軍ノ背後  
ニ在ル水陸交通路ノ維持改修及必要ナル場所ニハ之ヲ新設  
スルヲ以テ其任務上重要ナル事項トス 縱令戰地ニ完全ナル  
鐵道アリト雖ニ尙ホ水陸ノ交通路ヲ以テ之ヲ補助スルコト  
緊要ナリトス

第一百二十 水路ノ交通ハ縱令其速度緩徐ナルモ容易ニ多量  
ノ物件ヲ搬送シ得ヘク殊ニ永キ駐軍中ニ於テ其需用品ノ大  
ニ増加セシ時或ハ劇戦ノ後速ニ衆多ノ患者ヲ還送スルヲ要  
スル時等其効用甚タ大ナルモノトス故ニ兵站監ハ此輸送法  
ヲ利用スルコトヲ忽ニスヘカラス

第一百二十一 兵站線路海岸ニ沿ヒ或ハ縱令之ト遠隔スルモ  
海上ノ輸送ヲ利用シ得ル場合ニ於テハ成ルヘク速カニ港灣  
ヲ探究スルヲ緊要トス

又兵站監ハ水陸ノ輸送材料ヲ蒐集準備スルコト最モ緊要ナ  
リ殊ニ敵地ニ在テハ敵ヲシテ之ヲ破壊若クハ取り去ラシメ  
サルコトニ注意シ其豫防法ヲ設クルヲ要ス

第一百二十二 戰地ニ在テ水陸ノ交通路ヲ使用スルコトハ頗  
ル頻繁ナルモノトス故ニ兵站監ハ其保護及修繕ヲ瞬時モ忽  
ニスヘカラス之カ爲メニハ附屬ノ工兵隊尙ホ要スレハ土民  
ヲ使用シ之カ工事ヲ爲サシムヘシ又各兵站司令官ハ常ニ其  
管區内ノ交通路ヲ完全コスルコトニ勉ムヘキモノトス

第二十七章 兵站基地

第一百二十三 各師團ニ於テ通常大ナル停車場若クハ碇泊場ヲ撰ミ之ヲ兵站基地ト定ム兵站基地ハ一師團ノ爲メニ一個ヲ設置スルモノニシテ師管内ヨリ野戰軍ニ送致スヘキ諸物件ヲ集合シ又凡テ野戰軍ヨリ還送シ來ル諸物件ヲ其到達スヘキ地ニ分送スル爲メニ用ユヘキ要點トス

第一百二十四 兵站基地ハ其師管内又ハ他ノ師管内ニ置クトナ得而シテ兵站事務ハ其地ヲ管轄スル留守師團司令部ニ屬スルモノニシテ此司令部ニ於テ其兵站司令部ヲ設置スルモノトス 第百二十五 軍隊ヘ輸送スヘキ人馬物品等ヲ基地ニ集メ且軍隊ヨリ還送シ來ルモノヲ各地ヘ分送スルコトハ留守師團

司令部ノ任務トス

兵站基地ノ警備ハ其地ノ留守師團司令部ニ於テ擔當スルモノトス

第百二十六 兵站基地ハ一旦撰定シタル後之ヲ變更セサルヲ通則トス但内國ニ在テ作戰上其變更ヲ要スル時ハ此限ニ在ラス

第百二十七 兵站基地ハ人馬及物品ノ輜賚スル所ナルカ故ニ必ス軍隊ト物品トヲ積載スルニ適當ナル大停車(碇泊場)ヲ要シ且其近傍ニ宿舎倉庫等ニ充ツヘキ家屋多ク且ツ廣キ空地アルヲ要ス

第百二十八 兵站基地ニハ兵站司令部ノ外要スレハ別ニ停

車(碇泊)場司令部ヲ設置ス

停車(碇泊)場内ニ於テ輸送ニ支障勿ラシメンニハ之ニ關シ當該司令官ノ定メタル條規ヲ嚴ニ履行セシメ且ツ其構内ニ輸送諸物件ヲ過多ニ且長ク蒐集堆積セレメサルコトニ就テ當該師團司令部深ク顧慮スルヲ要ス

## 第二十八章 集積場

第百二十九 兵站基地ト主地トノ間ニ於テ交通便ナル地ニ集積場ヲ置キ此處ニ野戰軍ニ輸送スヘキ物件ヲ集合シ之ヲ整備シ以テ野戰軍ニ生スル需要ニ隨ヒ之ヲ兵站主地ニ送達ス但内國戰ニ在テ基地及主地ノ遠隔セサル場合ニ於テハ其中間ニ集積場ヲ設ケス直ニ基地ヨリ其主地ニ物件ヲ送達ス

然ルトキハ集積場ニ於テ行フヘキ事項ハ凡テ兵站基地ニ於テ行フモノトス

凡ヲ後方ヨリ鐵道ヲ以テ追送スル輸送物ハ一旦集積場ニ於テ卸下スルヲ常トス但軍隊及彈藥ハ此限ニ在ラス

第百三十 集積場ヨリ需要ニ應シ給養品ヲ輸送スルハ野戰監督長官ノ任ニシテ其輸送法ニ關シテハ運輸通信官長ノ企畫スル所タリ故ニ此兩官ハ常ニ協議シヲ事ヲ孰ルヲ必要トス

第百三十一 外征ニ在テハ凡テ野戰軍ニ送致スヘキ人馬及物品ヲ集積場ニ蒐輯シ更ニ其輸送ノ順序ヲ整理スル爲メ此地ニ運輸通信官衛ヲ置キ以テ輸送事務ヲ掌ラシム